

(社) 日本技術士会北海道支部
倫理研究会

倫理研究会発足

(2009.5)

目的

(社) 日本技術士会北海道支部の会員及び協賛会員が技術者倫理に関する諸問題を研究し、北海道で活躍している技術者に対して技術者倫理の啓蒙・普及を図ることを目的とする。また、研究会を通じて会員の広範な技術習得を期待する。

活動内容

- ① 技術者倫理に関する事例研究
- ② 定期的な講演会の開催
- ③ 大学や官庁からの依頼に対応した講師の派遣
- ④ 会誌や本部主催「倫理事例研究発表会」などへの報告・発表など



今後の運営

平成 21 年から正式な研究会として立ち上げ、将来的には常設の「倫理委員会」に発展させる。

ミニ講演会

倫理的用語の解説、「線引き問題」・「相反問題」の紹介、各種学会等が提示している倫理規定の説明、事例研究等

会員相互の話題提供

「武士道」(新渡戸稲造)「銃口」(三浦綾子)等

ワークショップ形式による事例研究

参考規範：
「土木技術者の倫理規定」(土木学会)

倫理問題研究会
準備会設立

(2008.6 13名参加)



技術者倫理の夜明け

チャレンジャー号事件、雪印乳業事件、東海村JCO事件、水俣病事件…。そのとき、現場にいる一人の技術者による抑止があれば、悲惨な事故の幾つかは起きなかったかも知れない。

土木技術者の倫理

本会が「技術者倫理」をテーマとして、土木技術者の倫理に関する研究を進め、技術者の倫理意識の向上を図ることを目的とする。

2009.1.10
会誌「コンクリート」(北海道)100号記念 (03.08.20)

倫理研究会の
当面の目標

倫理的思考の醸成

を
計る研究会の活動内容



2010年（平成22年）3月5日

第1回 技術者倫理フォーラム

～公衆から信頼される技術者になろう～
を開催しました

基調講演 科学技術社会観点からの技術者倫理

- 1 はじめに
- 2 「安心」と「安全」について
- 3 デマンドサイドコミュニケーション
- 4 科学技術社会論の動向について
- 5 作動中の科学に対して
- 6 過去の事例に学ぶ
- 7 リテラシー機能について
- 8 予防的リテラシーについて
- 9 おわりに



“科学技術リテラシー機能の向上”
はたして技術士の役割は？

技術士プロフェッション宣言

技術士の行動規範

- ① 高度な専門知識と能力をもち、技術進歩に応じて向上させ、自ら技術に責任を持つ。
- ② 顧客の業務内容、要求内容について課せられた**立派な義務と責任**に対して責任を持つ。
- ③ 社会・環境に与える影響を十分考慮し、**人々の安全・福祉等の公益を損なわない**社会に対して責任を持つ。

科学技術的観点と、社会的観点のインターフェースに立った科学技術社会論の観点からの技術者倫理について専門技術者としての認識、説明責任、コミュニケーション

→ 「安全」を捉える技術者倫理として取り組むべきか？

科学技術社会的観点からの技術者倫理

科学技術社会リテラシー機能

- ① 平常時の一般知識としてのリテラシー機能
- ② 事故、事件が発生した場合の事後対応としてのリテラシー機能
- ③ いわゆる「作動中の科学」への対応としての予防的な観点からのリテラシー機能

① 公衆の安全、健康、福祉の最優先を念頭に置き
② 双方向のコミュニケーションを基に
③ 専門家の「注意義務」、「説明責任」を果たす

講演風景



事例研究報告

報告 (1) 「使われた研究結果」

項目	技術士倫理要綱	NSPE/ASCE 基本要綱
1. 倫理の保持	○	○
2. 技術士は、つねに高品質の業務を、高い責任をもって、提供しなくてはならない。	○	○
3. 顧客の利益、公正、信頼を確保する。	○	○
4. 顧客の利益、公正、信頼を確保する。	○	○
5. 顧客の利益、公正、信頼を確保する。	○	○
6. 顧客の利益、公正、信頼を確保する。	○	○
7. 顧客の利益、公正、信頼を確保する。	○	○
8. 顧客の利益、公正、信頼を確保する。	○	○
9. 顧客の利益、公正、信頼を確保する。	○	○
10. 顧客の利益、公正、信頼を確保する。	○	○

技術士倫理要綱に照らして考えてみよう！



報告 (2) 「発注者からの依頼」

倫理問題のカチ(相反問題)

容易な選択 相反する一方の義務が他方より明らかに優先度が高い場合

創造的折衷案 それぞれの義務の尊重すべき向かいの道を見いだす場合

困難な選択 何れの義務も優先度が同じくらいで甲乙付けがたい場合



技術者倫理問題の解き方はこんな感じかな？



「技術者倫理フォーラム」第1回開催を記念して交流会が開かれました。

